

Saitama University Fund



埼玉大学基金

令和 **5** 年度

活動報告書

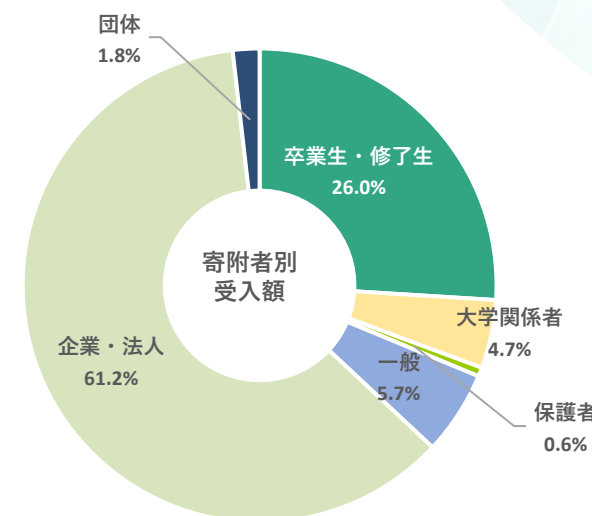


令和5年度受入の概要

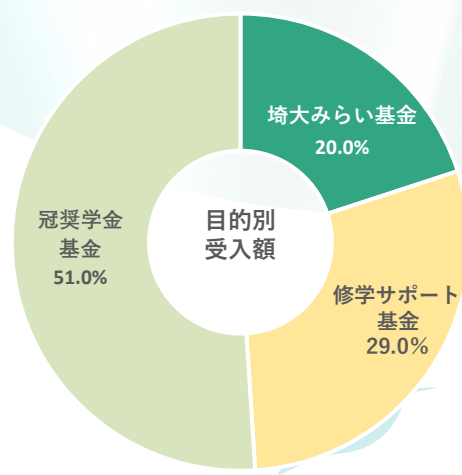
ご寄附受入額 〈令和5年4月1日～令和6年3月31日〉

埼玉大学基金にあたたかなご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。皆さまからのご寄附は、目的の趣旨に則って有効に活用させていただいております。

寄附受入件数 **304**件 / 寄附受入総額 **13,795,801**円



卒業生・修了生	146件	3,585,010円
大学関係者（退職者含む）	72件	643,649円
保護者	11件	84,068円
一般（匿名の方を含む）	46件	788,359円
企業・法人	24件	8,443,400円
団体	5件	251,315円



埼玉大みらい基金	81件	2,755,515円
修学サポート基金	216件	4,000,286円
冠奨学金基金	7件	7,040,000円

寄附受入額の推移 〈年度別〉

寄附目的	第1期〈2013年～2019年10月〉						第2期〈2019年10月～〉					合計
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
埼玉大みらい基金	—						11,557,960	1,948,276	52,854,216	4,708,774	2,755,515	73,824,741
埼玉大学修学サポート基金				1,706,000	1,185,000	1,815,305	849,000	65,263,000	34,728,392	5,782,881	4,000,286	115,329,864
冠奨学金基金		—					1,200,000	7,700,000	14,300,000	8,400,000	7,040,000	38,640,000
インターナショナルレジデンス新設事業	6,637,500	290,862,652	2,473,595	46,943,194	3,913,364	2,795,348	2,602,151	※2019年9月募集終了				356,227,804
目機能強化等将来構想実現に向けた中・長期戦略事業	499,500	1,163,000	945,000	1,088,000	4,011,000	3,447,976	104,050,000	※2019年9月募集終了				115,204,476
合計	7,137,000	292,025,652	3,418,595	49,737,194	9,109,364	8,058,629	120,259,111	74,911,276	101,882,608	18,891,655	13,795,801	699,226,885

令和5年度の活動報告

支出合計 **16,225,559円**

〈令和5年4月1日～令和6年3月31日〉

皆さまから賜りましたご寄附は、教育・研究活動支援として各事業に活用させていただきました。ここでは活用事業をご紹介します。

埼玉みらい基金

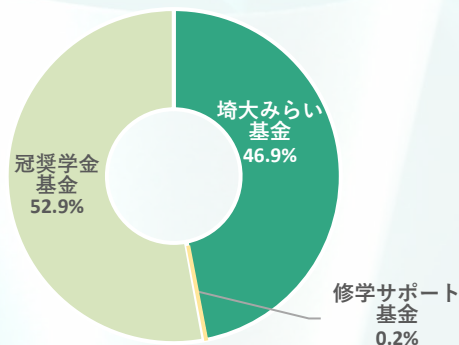
7,617,821円

修学サポート基金

27,738円

冠奨学金基金

8,580,000円

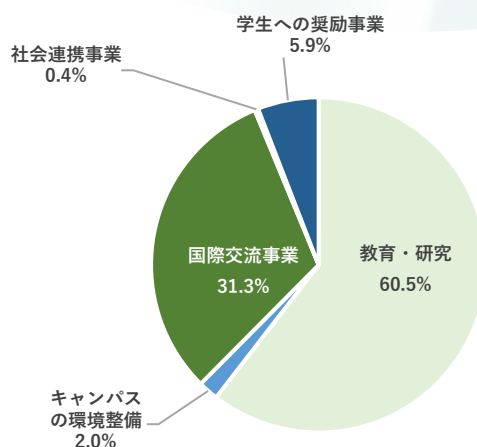


埼玉みらい基金

大学の機能強化及び学生への奨励事業として下記の5つの事業に活用させていただいております。

- 教育・研究に関する支援
- キャンパスの環境整備に関する支援
- 国際交流事業への支援
- 社会連携事業への支援
- 学生への奨励事業に関する支援

※ご寄附の際にご支援いただく項目をお選びいただけます。



■ 教育・研究に関する支援



● 『埼玉大学研究者マップ』の更新版を刊行

本学は大学の機能強化を図る取組の一つとして「研究力強化と社会的課題を解決するための共創拠点の形成」を掲げています。埼玉大学全研究者の多様な研究内容多くの皆様に知っていただくことで、各種の協力・連携の可能性を追求する一助とし、社会の課題解決へ貢献していく使命を果たします。



● 大学図書館の図書を購入

学生からの購入希望や教員推薦本等、合計36冊を購入させていただきました。
(購入リストは埼玉大学基金のHP内にてご報告させていただいております)
※この取組みは「リサイクル募金」を活用したものです。

埼大みらい基金



■キャンパスの環境整備に関する支援

正門ロータリーの志木行バス停に「ベンチ」を設置しました。

学生からの要望があり、志木駅東口行きバス停にベンチの設置が求められていました。これまで同バス停にはベンチが設置されておらず、学生や地域住民がバスを待つ際に不便を感じている状況が続いていました。今回のベンチの設置により、学生や教職員、地域住民の皆さまにとって、バス待ちの際の快適性が向上し、利用環境が大きく改善されました。



■国際交流事業への支援

ウクライナからの避難学生への支援を行いました。

昨年度に引き続き、ウクライナ協定校からの避難学生4名への教育支援、生活支援として渡航費・生活費等の支給を行いました。

2023年8月に埼玉大学での留学生生活を無事に終え、3名が帰国し、1名が日本に引き続き在留となりました。避難学生及び協定校からは、本学の支援に対し感謝の意が示され、埼玉大学として国際貢献を果たしました。



■社会連携事業への支援

埼大学生広報サポーター※活動支援を行いました

2023年度は、そごう大宮店との「～埼大学生広報サポーターpresents～親子でわくわくクリスマスイベント」、未来屋書店と野店との「出張!!絵本よみかかせ会」等、地元企業との連携事業を開催しました。学生の活躍を支援すると共に、地域の子ども達と交流し、イベントを楽しんでもらうことで地域貢献を果たしました。



※埼大学生広報サポーターとは

本学は、広報活動と地域社会との連携を一層推進するため、2022年10月に新たな取り組みとして、「埼大学生広報サポーター」を発足させました。当サポーターは、学生ボランティアで組織され、学生ならではの視点から大学の広報活動を行うとともに、自治体や企業、地域社会と連携し、プロジェクトの企画立案や運営を教職員と協働で活動しています。



■学生への奨励事業に関する支援

●梶田隆章賞※を学生2人に授与しました。

梶田隆章賞とは

1981年の埼玉大学理学部卒業生で、2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章先生（東京大学宇宙線研究所・教授）の栄誉を称えて設けられたものです。賞の創設には、梶田先生の寄附金が充てられています。2017年度の創設以来、次世代の若手研究者の育成を推進することを目的として、学業において優秀な成績を収め、高い研究者への志を有する大学院進学予定の卒業生を表彰しています。



●学食でのフード支援「100円朝食」

朝食を食べて学生の正しい生活リズムを作ることを目的として、令和5年11月9日～22日の期間に渡り、100円朝食を開催しました。100円で、ごはん、みそ汁、日替わりのメイン料理等を提供することができました。

修学サポート基金

昨年に引き続き、学食でのフード支援を行いました。が、本年度より「埼大みらい基金」の使途の一つ「学生への奨励事業に関する支援」にて、本サポートを継続的に行うこととなりました。

本年度の修学サポート基金は、原資を募る活動のみとなりましたが、来年度につきましては、「埼玉大学令和6年能登半島地震緊急支援奨学金」としての活用を予定しております。

冠奨学金基金

寄附者の方のご意向に沿う形で学生をご支援いただく制度です。埼玉大学基金の前身である埼玉大学発展基金で設立されたものを含め、2023 年度末現在、下記のとおり13件のご支援をいただいております。

- 大内新興化学工業奨学金 【設立順】
- 白楽ロックビル奨学金
- MARELLI奨学金
- エネグローバル奨学金
- 大栄不動産奨学金
- デジタルベリー奨学金
- 武島(志方)明子奨学金
- 高脇基礎工事奨学金
- 祐昭奨学金
- 大志奨学金
- Max会奨学金
- ポーライト奨学金※
- 三明インターナショナル奨学金（三明屋賞）※

※令和 6 年度給付開始



エネグローバル奨学金（研究賞授与式の様子）



支援を受けた学生からたくさんの感謝の声が届いております。
その一部をご紹介します。



この度は奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。父の失業や母の経営する会社の経営悪化で学業を続けることが難しい状況になっていました。加えて弟の大学進学で、家庭の経済状況はさらに悪化していました。

しかし、貴基金のおかげで安心して学業を継続することができました。昨年は無事埼玉大学を卒業し、現在は同大学の大学院に進学しました。そこでは細菌やウイルスに関する研究をより深めております。今後はここで得た経験を活かし、医療や衛生に関する分野で、人々の健康に貢献したいと考えております。もし学業継続に不安があるままだと、研究に集中できなかったと思います。

大学院まで進学した現在でも経済的な支援を継続してくださったおかげで、不安を感じることなく研究に集中できております。誠にありがとうございます。この御恩は決して忘れず、社会に貢献することでお返ししていく所存でございます。

大学院理工学研究科 博士前期課程 1 年

奨学金を頂き、心より感謝申し上げます。この奨学金のおかげで、私は経済的な不安を抱えることなく、研究に専念することができました。

特に、IT技術を活用した社会貢献に取り組むことができ、非常に有意義な時間を過ごしております。研究活動を通じて、社会の課題解決に寄与することを目指しており、これまでにない視点で新たな可能性を見出しています。

皆様のご支援により、私の研究は着実に進展しており、今後も更なる成果を目指して精進して参ります。本当にありがとうございます。

工学部 4 年

冠奨学金基金



学生からの感謝のこぼ



この度は奨学金のご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

私は教養学部現代社会専修の社会コミュニケーション専攻に所属しており、身近な社会現象や情報メディアを学問の中で扱っています。私たちの身の回りで起きている些細な出来事すらも研究対象となる、意外性のある学問分野ですが、現代社会を捉えるうえで意義のある学びだと感じています。

頂いた奨学金は、教科書等の購入のために使わせていただきました。奨学生として選んでいただいたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。この経験は私に自信を与え、現在でも日々の勉学の中で励みとなっております。

これからも奨学生としての名に恥じぬよう、身を引き締めて日々精進していきます。自身の成長につながる貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

教養学部 3年

この度ご寄附いただいたこと、心より厚くお礼申し上げます。

私は現在、教養学部日本文化専攻に所属し、日本語学・日本語教育学を中心に学修しております。大学入学時より、日本語教育に関心があり、今年の3月には中国での海外日本語教育実習に参加いたしました。

中国における日本語教育の現場を実際に経験できたことに加え、中国のさまざまな文化を体験できたことは、私自身の視野を大きく広げ、さらに日本語教育・日本語学の分野を追究していきたいという気持ちにもつながりました。今回、海外教育実習での貴重な経験を積むことができたのも、皆様方のご支援があったからこそでございます。本当にありがとうございました。

私は、埼玉大学における5年一貫コースで博士前期課程の修了を目標としております。そのため、今後はより一層勉学に励む所存でございます。将来、国内外において活躍することのできる人材となれるよう、精進してまいります。

最後になりましたが、ご寄附いただいたこと、重ねて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

教養学部 3年

まず初めに、私を奨学生として選んで頂いたことに感謝申し上げます。

奨学金をいただいたことは、経済的な支えだけでなく、学業に励む上での原動力のひとつにもなっています。いただいた奨学金は主に通学費用、TOEICの受験費用と参考書代に使用させていただきました。

TOEICは受験費が高く、金銭的に余裕がなかったため、これまでなかなか受験できずにいました。今回奨学金をいただいたことをきっかけに受験をしました。公式問題集を中心に勉強に取り組み、800点を超えるスコアを取得することができました。

大学では、Deep Learningに関連する研究に取り組んでいます。現在は研究分野の基礎勉強を中心に行なっていて、実際に研究に取り組むのはもう少し先ですが、国際学会での論文採択を目指して、奨学生の名に恥ぬよう、これから研究に励んでいきます。将来的には、グローバルで活躍できるエンジニアを目指しています。今後もプログラミングだけでなく、引き続き英語の学習にも励み、グローバルに活躍できる人材を目指します。

最後になりますが、厚く御礼申し上げます。

工学部 4年



冠奨学金基金



学生からの感謝のこぼ



この度は奨学金の受給を許可してくださり、心から感謝申し上げます。

現在、私は次世代を担う太陽電池として注目を浴びている「ペロブスカイト太陽電池」の研究に明け暮れており、講義で習った半導体物性の知識と、研究室に配属されてから改めて学んだ化学反応に関する知識とを融合させつつ、ペロブスカイト太陽電池をより簡便かつ高性能に作製するプロセスについて追究しております。

いただきました給付金により、学費の心配をせずに持てる時間の全てを費やして全力で研究に取り組むことが可能となりました。その甲斐あってついに先日、素晴らしい成果のきっかけを掴むことができたため、以降は更に一層研究に打ち込み、近々行われる学会でこの成果について堂々と発表を行いたいと考えております。

これほどの結果を得ることができたことは、偏に今回いただいた奨学金によるものであり、改めて今一度感謝の意を示させていただきたく思います。本当にありがとうございます。

大学院理工学研究科博士前期課程 1 年

私が最も力を入れているテーマは、組込みシステム開発のための開発手法です。組込みシステムは、特定の機能やタスクを実行するために設計され、製品や装置に組み込まれているシステムです。家電製品や自動車、医療機器など身近なものに組み込まれています。近年では、IoTやAI技術の進展により、組込みシステムを利用する機会がさらに増えています。

しかし、これらの技術の発展や機能の多様化により、組込みシステムは大規模化や複雑化が課題となっています。私はこれらの課題に対処するために、コンポーネントベース開発（CBD）という開発手法について研究しています。CBDはシステムをコンポーネントという部品に分割し、それらを結合することでシステムを構成する開発手法です。1つのコンポーネントに1つの機能を実装するため、システムの構造が明確になり、複雑化に対処できます。

また、機能の独立性が高くなるため、機能を取捨選択しやすくなる柔軟性や、他のシステムに流用しやすくなる再利用性が向上します。これにより、大規模化にも対応できます。現在私は、CBDをセキュアに行うためのフレームワークについて研究しています。



大学院理工学研究科博士前期課程 1 年

私は大学で情報工学を専攻し、アプリ開発からハードウェアまで幅広い分野について学びました。特に組み込み分野に深い興味を持ち、組み込みが専門の研究室に所属し、卒業研究では自動運転に関する研究を行いました。自動運転分野では開発にはAUTOSAR AP（AUTOSAR Adaptive Platform）が、研究にはROS 2（Robot Operating System 2）が広く利用され、開発と研究に異なるプラットフォームを利用していることは自動運転車の実現に大きな障壁となっています。さらにSoftware Defined Vehicleが進むこれからの自動車はプラットフォームの混在した開発も求められています。

私は AUTOSAR APとROS 2に焦点を当て、自動運転分野で用いられている2つのプラットフォームの連携を目的としたブリッジを実装しました。この研究成果は2023年度の情報処理学会で山下記念研究賞を受賞し、大学院に進学した現在も企業との共同研究として進めております。

今後も研究を続け、自動運転技術のさらなる発展に寄与したいと考えています。

大学院理工学研究科博士前期課程 1 年

冠奨学金基金



学生からの感謝のこぼ



この度は奨学金のご支援誠にありがとうございます。

私の家庭は母子家庭であり経済的な余裕があまり無くアルバイトに勤しみながら学業に励んで参りました。このような状況中でのご支援であり、非常に助けになりました。私は現在、情報工学科で情報分野のエンジニアになるためにプログラミングや情報工学を学んでいます。

今回ご支援いただきました奨学金はプログラミングの独学をする際の教材費等に使用させていただきます。今後の目標は複数のプログラミング言語を扱うことが出来るようになり、その上で実用的なプログラムを開発できるようになることです。

最後になりますが、ご支援のほど重ねて御礼申し上げます。

工学部 2 年

この度、援助を頂きありがとうございました。

私は工学部情報工学科での活動と合わせて塾の講師としてアルバイトをしておりましたが、あるタイミングより体調を崩してしまい、なかなか様々なことに活動的に出来ない時期が続いておりました。その中でこのような奨学金の支援を頂き、一度様々な面で自分を見つめ直し、生活を正す時間を設けることができました。

とても感謝しています。

大学院理工学研究科博士前期課程 1 年

私は、大学院でデータ分析の研究に勤しんでいます。いただいた奨学金は、大学院での研究に集中するために生活費の足しとし、バイトの数を減らせるようにしました。

今後は、大学院で研究により一層励み、学会や修論発表で出来の良い研究が発表できることを目標としています。また、大学院で学んだ技術や知識を今後社会に出てから活用できるように、大学院生のうちに吸収できるものを全て吸収する気持ちで、残りの大学院生活を過ごしていきたいと考えています。



大学院理工学研究科博士前期課程 1 年

この度、多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在私は、大学院で物体の変形を用いた視覚フィードバックに関する研究を行っています。研究活動、大学院の講義、就職活動と忙しい日々を送る中で、アルバイトに多くの時間を割くことが出来なくなっています。

そのなかで奨学金を頂けたことは、研究活動や課題へ取り組む時間を増やすことに繋がっています。今後は海外の学会での論文発表を目標に、日々の研究や講義に打ち込み、社会に貢献する人材に成長できるように精進して参ります。

重ねて御礼申し上げます。

大学院理工学研究科博士前期課程 1 年

冠奨学金基金



学生からの感謝のこぼ



奨学金を寄附していただき、御礼申し上げます。

いただいた奨学金は、書籍購入など学修や技術力向上のために利用しています。奨学金をいただいたことで自己研鑽への支出が増加し、成長につながっていると感じています。

また奨学生としての責任感をもって卒業研究、学修に取り組んでいます。私は現在4年生で大学院への進学を希望しており、試験を控えています。金銭的な事情から大学院進学を悩んだ時期もありましたが、奨学生に選ばれたことが精神的な支えや励みにもなり、進学を決意する後押しとなりました。

今後ともご支援をいただいていることに深く感謝し、奨学金をいただいたことにふさわしい人であるよう努力いたします。この度は誠にありがとうございました。

工学部 4 年

この度は、奨学金のご支援ありがとうございます。

私は、「VRを用いた運動技能上達のための未来のお手本情報提示」というテーマで研究を行っています。

これからも支えてくれる方々への感謝を忘れず、懸命に研究に取り組んでいきます。

大学院理工学研究科博士前期課程 1 年



この度、奨学金の受給者に選んでいただいたことを大変光栄に思います。私は現在、教養学部教養学科グローバル・ガバナンス専修国際関係論専攻に所属し、国際政治学や国際政治経済学、国際法学などを学んでいます。世界各地で戦争や紛争が起こり、世界情勢も深刻さを増していく中、国際関係を学ぶことには大きな意義があると考えています。また、今年の9月から一年間フランスのリール大学に留学することが決まっていて、そこでも政治科学や法学を学ぶ予定です。留学先では、地域の人や大学の学生との交流を通じて、バイアスに捉われない、多角的な視点を身につけるとともに、現地の文化や風土に触れ、異文化への理解を深めていきたいと考えています。リール大学では、フランスの視点から国際政治を学び、国際関係の研究への足がかりとしていきたいです。いただいた奨学金は、大学の学費や留学の資金に充てさせていただき、より一層学業に邁進していきたいと考えております。そうして得た、沢山の経験と知識を活かし、将来は世界の平和構築に資する仕事をしたいです。改めて、ご支援いただき、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

教養学部 2 年

この度奨学金をお手配下さり、ありがとうございました。

先日伺った際にも丁寧なおもてなしを頂き、私は貴社への感謝の気持ちを抱きながら一層学業に努めていく所存です。同奨学金は卒業論文や講義用の書籍購入と大学院入試に活用させていただき、様々な学業の望みを叶えることが出来ています。

今後は大学院に進学できた場合でも、社会人としての道を歩む場合でも、引き続き学術研究に注力し、私なりの形で皆様のように社会に貢献できるよう、精進してまいります。

改めて私を支えてくださった貴社の皆さまには心から感謝申し上げます。

教養学部 4 年

冠奨学金基金



学生からの感謝のこぼ



この度は、奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございました。
ご支援を受けまして、私は現在、大学での学びと就職活動に励む傍ら、現代詩の創作活動にも積極的に打ち込むことができております。

学業では、昨年度に引き続き、自身の専門とする芸術分野だけでなく、社会学や歴史学など隣接分野も幅広く学ぶことで、多角的な視点を養うことに繋げていくことができました。

また、現代詩の活動としましては、今学期から新たに埼玉大学公認のサークル団体を設立し、埼玉大学単独での詩集の作成や朗読会などの実施に取り組んでおります。なかでも、詩集の作成は個人の力量では金銭面から難しいものであったため、今回のご支援があつてこそ実現できたものだと考えております。こうして活動の幅を広げたことで、地域や年齢を問わずさまざまな方に作品を知っていただき、興味を持っていただくことができました。

このように、さまざまなことに挑戦できる学生生活を送る機会を与えてくださった、ご支援に重ねてお礼申し上げます。

教養学部4年

このたびは奨学金のご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援のおかげで、自信の目標を追い続けることができ、学業に専念する環境が整いました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

私は現在、自動車の規制速度超過により発生する交通事故の死亡者が多いという社会課題の解決を目指して、交通安全対策である「ハンプ（道路上のこぶ）」の研究に取り組んでおります。将来的には、技術を持って社会に貢献できる人材に成長することを目指しております。皆様のご支援は、私の学問的な成長とともに、社会貢献への大きな一歩となることを確信しております。寄附者の皆様のおかげで、私は日々の生活や学業における経済的な不安から解放され、自分の可能性を最大限に引き出すことができています。このご恩を忘れず、必ずや成果をあげ、恩返しする所存です。

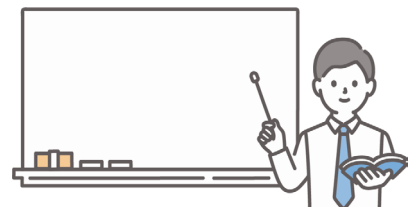
改めまして、皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。今後とも、努力を惜しまず精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大学院理工学研究科博士前期課程1年

この度は奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。頂いた奨学金は、大学院通学にかかる費用や学習に使用する書籍等の購入に充てております。

新型コロナウイルスの流行を機に父親の収入が減少し、経済的に苦しい状況が続いており、教職大学院に進学することを決めた後も金銭面で不安を感じることがありました。そのような中で奨学生に採用していただき、金銭的にも多少の余裕が生まれ、前向きな気持ちで大学院生としての生活を始めることができました。

私は昨年度の埼玉県公立学校教員採用選考試験に合格し、令和8年度から県内の公立高校で理科の教員として勤務することが決まっております。理科教育を通して、目まぐるしく変化し続ける現代社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てることが現時点での目標です。そのための力量を身に付けるべく、これからも日々研究と勉学に励みます。



最後になりますが、祐昭奨学金の奨学生として採用いただいたこと、重ねてお礼申し上げます。

教育学部4年



学生からの感謝のこぼ



寄附者の皆様、この度多大なる支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私は現在理学部数学科に在籍しており、日々数学の勉強に励んでおります。来年からは卒業研究として幾何学及び力学系という分野を専門にしたいと考えております。力学系は時間発展する系を分析する分野であり、現代社会のあらゆる問題に対してアプローチすることができる分野です。

例えば、株価の変動や人口分布の遷移、流体の運動の解析や化学反応の様子といった様々な現象を理解する道具となりうる分野です。私は残りの大学生活で力学系についての深い知識をつけ、大学院に進学したいと考えていますが、大学院進学は金銭面での負担が大きいです。また、力学系は数学の分野の中でも非常に新しい分野なので、和書で良い本が少なく、海外で出版されている数学書を買わなければならないため、その点でも金銭的に負担が大きいです。

そのような状況でご支援をいただけることはとてもありがたく、感謝してもしきれないです。お陰様でこの1年間、私の精神的不安が和らいだ他、アルバイトをする時間も減らすことができ、より一層数学に打ち込むことができました。将来は、数学を通して現在の科学上の問題や社会問題に対しての研究を行い、知識を社会に還元していきたいと考えています。

最後に改めまして、この度は寄附者の皆様に深くお礼を申し上げます。日々感謝の気持ちを忘れないように精進して参ります。

理学部3年

毎年ご支援を賜り、大変感謝しております。

私は現在、企業で長期インターン生として勤めながら、大学で専攻分野を学んでおります。専門は機械系ですが、企業では経営戦略室という部署で企画や広報をやらせていただいております。研究所を専門とする建築事務所、内部研究設備メーカーのため、日々研究者の方々のひらめきを支えるべく勤めております。

頂いた奨学金は主に留学費用に充てさせていただいており、今後は授業料や海外インターンへの渡航費用に使用させていただきたいと考えております。

私は大学在学中に、アメリカ合衆国への留学や国際開発援助の知見を高める学びの機会、長期企業インターンやサークルにて大型映像企画のリーダーをする機会を経験させていただいており、これらのご支援なくしては成し得ないものばかりでした。

今後は専攻分野の研究が本格的に始まるため、学問におけるより一層のチャレンジを行っていきたくと考えております。またこれらの経験は、私の夢であるテーマ性のあるアトラクションの製作において、機械の知見があり、創造性に富んだ実行力のあるリーダーとなるに必ず役立つと信じております。

ぜひ今後とも見守っていただけますと幸いです。この度はご支援いただいたこと、改めて感謝申し上げます。



工学部4年

3年間、奨学金という形でご支援いただきありがとうございました。ご支援いただいたお金は自身の研究分野や興味のある分野の書籍購入をしたり、展示を見に行く等の費用として使わせていただきました。知識をつける、興味の幅を広げることに注力することができたのは奨学金のおかげです。本当にありがとうございました。

教養学部4年



学生からの感謝のことば



昨年度は、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

いただいた奨学金は研究に必要な図書の購入や、フィールドワークの交通費などに使わせていただいております。以前よりも余裕を持って学業に取り組むことが可能となりました。活動としては、昨年の12月に金沢で3大学合同発表会を行い、私どもが研究しております春日部駅周辺の活性化について、成果をまとめて発表するという機会がありました。他大学と交流することによって、自分たちが行っている調査・研究を客観視することが可能となり、様々な気づきを得られたという点で、非常に良い機会となりました。

また、本年度からは埼玉県のかんがい遺産を地域振興に用いるというテーマの研究も開始し、秋には県知事に向けて発表会を行う予定で調査を進めています。これまでの研究で身につけてきたものを活かして調査を徹底し、奨学生として恥じない研究成果を上げられるように努力していきます。

後にもう一度、手厚いご支援に対して感謝申し上げます。

経済学部 3年

この度はご支援いただきありがとうございました。

現在私は、化学を用いてCO₂の問題を解決する基礎的な研究に日々取り組んでいます。いただいた奨学金は生活費の一部に充てさせていただきました。おかげで、研究により多くの時間を割くことができたと感じています。

今後は、卒業までにより多くの結果を残すことができるように力を尽くしたいと思います。また、卒業後も化学研究者の道に進み、社会をより豊かにする製品の研究開発に関わり、化学を通して社会の力になりたいと考えています。



大学院理工学研究科博士前期課程2年

この度は奨学金を授与いただき、心より感謝申し上げます。

現在、大学では有機典型元素化学の研究に取り組んでいます。特にこれまでにない性質を有するラジカル種の合成と応用に関する研究を進めており、毎日朝から夜まで実験と解析に専念しています。

また、週末にはアルバイトをして生活費を賄っています。いただいた奨学金は、生活費や修学費に充てさせていただきました。このおかげで、金銭面に関する不安が和らぎ、研究により集中することができました。

来年度からは博士後期課程に進学し、さらに自らの研究を深めていきたいと考えています。博士終了後は、企業において新しい化学物質の開発やその応用を通じて、日本社会に貢献できるような研究者を目指していきます。そのためには、今後も絶えず学び続け、自身の能力を高めていく所存です。

改めて、この度のご支援に深く感謝申し上げます。いただいたご恩を胸に、これからも精進してまいります。

大学院理工学研究科博士前期課程2年



学生からの感謝のこぼ



この度は寄附金を賜りまして、誠にありがとうございました。

頂いた寄附金は、勉学のために有意義に活用させていただきます。私は現在、大学院で小型魚類のゼブラフィッシュを用いて、胸鰭の形成に必須な遺伝子の同定に取り組んでおります。動物の発生で重要な役割を担うHox遺伝子の関与が示され、具体的な遺伝子の同定まであと一歩というところです。胸鰭は、ヒトの腕など四肢動物の前肢と相同な器官であることが知られており、マウスなどで前肢形成にHoxが関与することは示されているものの、魚では未だ知見がありません。したがって、胸鰭の形成をHoxが担っていることが分かれば、発生生物学や進化学において重大なインパクトをもたらすかもしれません。

また、徐々に就職活動も始まっている中で、将来は大学で学んだことを活かして、苦しむ人に手を差し伸べられるような医薬品や健康食品の開発に携わりたいというビジョンも明確になってきました。大学院で学べる期間は限られていますが、与えられた時間で出来るだけの学びや経験を経て、将来的には社会に貢献できるよう、これからも精進してまいります。重ねてお礼申し上げますとともに、今後とも埼玉大学へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



大学院理工学研究科博士前期課程1年

この度は温かいご支援をくださり、ありがとうございます。ご厚意に深く感謝申し上げます。このような形で背中を押していただき、とても恵まれた環境にいることを改めて実感いたしました。

私はこれまで、先生方や友人に恵まれ、楽しい学校生活を送ってきました。学校という場が大好きで、こうした自身の経験から学校に通う子どもたちに居場所をつくることのできる人になりたいと思い、教職を目指すようになりました。現在は、国語科教育の中で、言葉を通して「自分らしさ」を表現する力を育むことを目指し、研究に取り組んでいます。また、自治体の行う体験活動に加え、ありがたいご縁から人とのつながりを通して、様々な経験をさせていただいています。周りのお力添えのおかげで、大学生活を通して、視野を広げるという入学当初の目標に近づけていると感じます。

今回いただいたご支援に対し、奨学生としての自覚をもち、感謝の気持ちを忘れず、ひとつひとつの出会いを大切に、未来を拓く子どもたちに還元できるよう尽力してまいります。

今後とも、学生の思いに温かいお力添えをいただけますと幸いです。この度は誠にありがとうございました。



教育学部4年